

## SOLUTION BRIEF

# Google Cloud 向けの 高度なセキュリティの拡張

## 概要

Google Cloud は、セキュリティを設計要素の中心に据えて構築されました。Google は Google サーバーに保存された情報を保護するために、多様な技術とプロセスを使用しています。他のパブリッククラウドプラットフォームと同様に、Google は Google のインフラストラクチャ上で動作するインスタンスに対して、多くの基本的なセキュリティ制御をお客様に提供しています。しかしながら、一般的なクラウド型 IaaS (Infrastructure-as-a-Service) では、お客様が Google Cloud 上にデプロイするオペレーティングシステム、パッケージ、すべてのネットワーク接続、インバウンドおよびアウトバウンドのトラフィック、アプリケーションのセキュリティを制御することはできません。法規制のコンプライアンス要件への対応は、お客様自身の責任となります。

Google Cloud 向け FortiGate は、一貫性のあるクラス最高レベルのエンタープライズセキュリティを拡張することで、オンプレミスのデータセンターとクラウド環境との間におけるビジネスワークロードの接続を保護します。企業には、クラウドのワークロードに合わせて拡張できる、シームレスなセキュリティオーケストレーションが必要です。FortiGate は高度な脅威保護によって、Google Cloud が本来備えているセキュリティ機能を補完します。

## 基本的な Google Cloud セキュリティの補完

FortiGate が Google Cloud を保護することで、開発者は基本的な Google Cloud VPN をベースに、エンタープライズクラスの次世代ファイアウォール (NGFW)、仮想プライベートネットワーク (VPN)、侵入防止システム (IPS)、アンチウイルスなどをクラウドアプリケーションおよびデータと共に展開できます。

## 一元化されたパブリック/ハイブリッドクラウドのセキュリティ可視化

FortiGate NGFW を FortiManager と共に使用すると、サイト全体で一貫したポリシー管理と、マルチクラウドインフラストラクチャでの可視化が可能になります。

## PCI のコンプライアンスに対応したプラットフォーム

お客様がどのようなパブリッククラウドオプションを選択しても、パブリッククラウドは責任共有モデルに準拠します。FortiGate のオープン API (アプリケーションプログラミングインターフェース) と総合的なログ分析によって、設定不要の PCI (Payment Card Industry) コンプライアンスレポートが利用可能になります。組織はすべてのログストリームを Google Cloud に取り込むことで、脅威保護の効果をさらに高めることもできます。

## 共同ソリューションの コンポーネント

- フォーティネット FortiGate 次世代ファイアウォール (NGFW)
- Google Cloud

## 共同ソリューションの利点

- オンプレミスやクラウドなど、あらゆる環境で責任共有モデルの一貫したセキュリティ態勢を維持
- Google Cloud に適した包括的で高度なセキュリティおよび脅威保護
- 一元管理による継続的な制御と可視化
- クラウド内やクラウドをまたいで統合された環境において、エンドツーエンドのデータおよびリスクの集中を減災



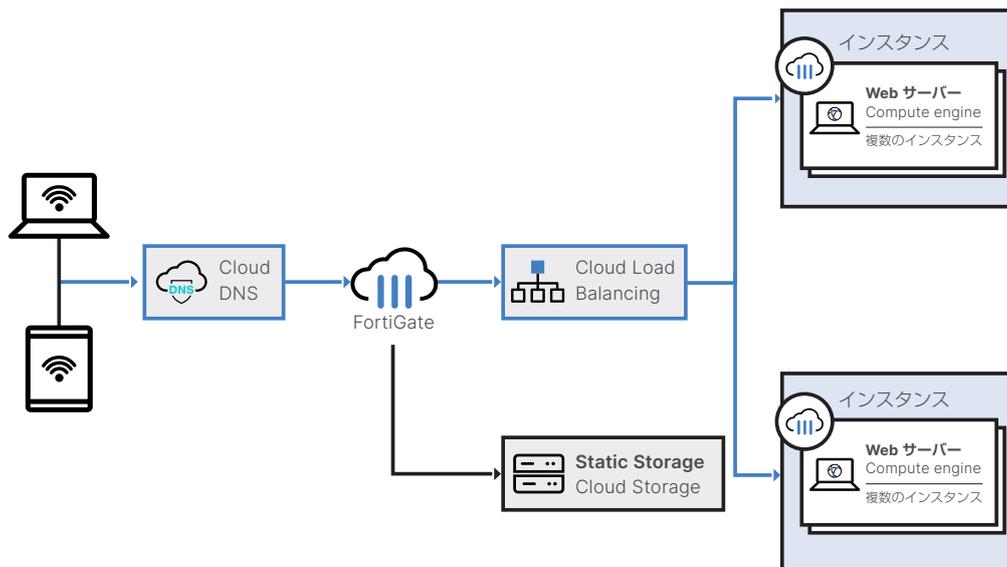


図 1.1：多層型セキュリティ

Google Cloud

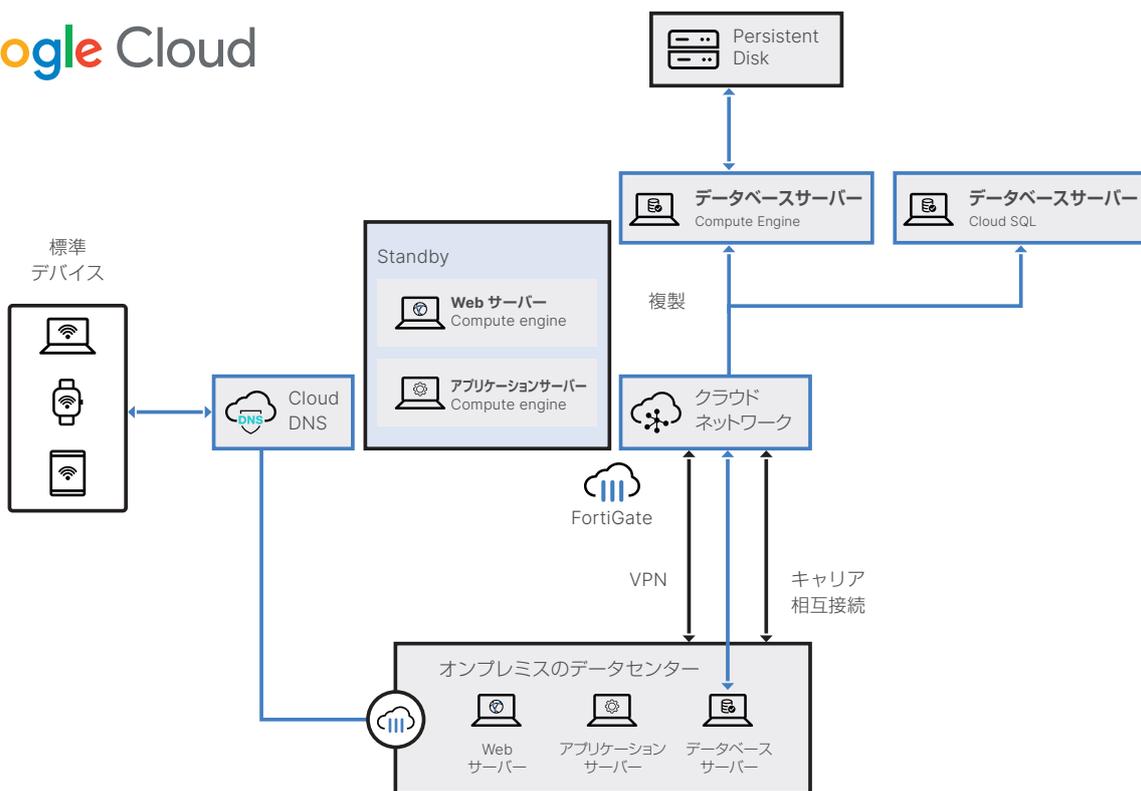


図 1.2：ハイブリッドクラウド

### FortiGate on Google Cloud

Google Cloud の Virtual Private Cloud (VPC) では、Google Cloud のリソースを地理的にプロビジョニングし、それらのリソースを VPC 内で相互接続したり分離したりできます。さらに、Google Cloud 内、または Google Cloud とオンプレミスまたは他のパブリッククラウドとの間で、きめ細かいネットワークポリシーを定義またはセグメント化することも可能です。

FortiGate 仮想ファイアウォールを導入して、ネットワークをセグメント化し、仮想インスタンスへのアクセスを制限します。Google Cloud 向けの主な FortiGate 導入ケースは次のとおりです。

- サイト間 VPN
- 高可用性ファイアウォール
- VPC 間の多層型セキュリティ
- ハイブリッドクラウド
- FortiManager を併用した一元管理

## BYOL ライセンス

FortiGate は、BYOL (Bring-Your-Own-License) を適用して Google Cloud Launcher で利用することができます。この BYOL は、標準および新しい V- シリーズの仮想インスタンス (VM01/v ~ VM32/v) をサポートし、VDOM (仮想ドメインオブジェクトモデル) と非 VDOM 構成の両方に対応しています。

## フォーティネット セキュリティ ファブリック

セキュリティ ファブリックは、広範囲に及ぶ可視化、AI (人工知能) を活用した統合的な侵害防止、そして、フォーティネットの製品およびエコシステムが導入されたあらゆる環境における運用、オーケストレーション、レスポンスの自動化を実現します。セキュリティ ファブリックでは、ワークロードやデータの増加に合わせてセキュリティを動的に拡張または変更できます。また、ネットワーク上で IoT デバイスとクラウド環境の間を移動するデータ、ユーザー、アプリケーションをシームレスに追跡して保護します。これらすべての機能は一元管理のもと緊密に統合され、お客様の環境全体に最先端のセキュリティ機能を提供すると同時に、複雑さを大幅に軽減します。セキュリティ ファブリックの基盤である FortiGate は、他のフォーティネットセキュリティ製品や、ファブリック レディ パートナーソリューションと緊密に連携することで、可視化と制御を実現し、セキュリティをさらに強化します。

## Google Cloud について

Google Cloud は、安全、オープン、インテリジェントかつ革新的なエンタープライズクラウドプラットフォームを提供する世界有数の企業として、広く認知されています。Google Cloud のテクノロジーは Google のプライベートネットワークを基盤としており、セキュリティ、ネットワークアーキテクチャ、コラボレーション、人工知能、そしてオープンソースソフトウェアの分野における 20 年近いイノベーションの結果生まれたものです。Google Cloud および Google Workspace において、シンプルな設計のツールと卓越したテクノロジーを提供し、人、情報、アイデアの融合を支援しています。150 を超える国のお客様が、現代のデジタル世界でコンピューティング環境を最新化するうえで、Google Cloud に信頼を寄せています。



フォーティネットジャパン合同会社

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7 Tri-Seven Roppongi 9 階

[www.fortinet.com/jp/contact](http://www.fortinet.com/jp/contact)

お問い合わせ